

香川県県政世論調査

平成 29 年 5 月

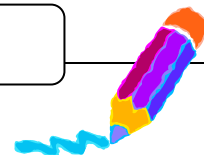
香川県総務部知事公室広聴広報課

ご記入にあたってのお願い

1. この調査は、封筒のあて名の方をお願いするものです。回答は、必ずあて名の方がご記入くださるようお願いいたします。
2. 氏名、住所のご記入は必要ありません。
3. 回答は、あなた自身のお考えにあてはまる番号に○をつけるか、必要なことを（ ）にご記入ください。
4. 得られた回答については、統計的に処理した上で分析しますので、個人の名前が出たり、他の目的に使用することは一切ありません。
5. 本調査は、県民の方の関心、認識、要望、意向などを把握し、今後の県政の施策立案上の基礎資料とするための重要な調査ですので、高齢者の方から若年層の方まで幅広くご回答いただきますようお願いいたします。
特に、近年若年層の方からの回答率が低い傾向にありますので、ご協力をよろしくお願いします。

ご記入が終わりましたら

ご記入いただきました調査票は、



同封の返信用封筒に入れて、6月1日（木）までに

ご投函ください。（切手は不要です）

なお、記入方法などわからないことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

香川県総務部知事公室広聴広報課 広聴グループ 六車、谷澤

住 所 高松市番町四丁目1番10号
電 話 087-832-3021 又は 3022 (直通)
FAX 087-862-3000
E-mail kocho@pref.kagawa.lg.jp

■はじめに、交通マナーについておたずねします。

平成 28 年の県内の交通事故は、事故件数や負傷者数が着実に減少している中、死者数は、前年と比べ 9 人多い 61 人となり、4 年ぶりに前年を上回る状況でした。

また、平成 28 年 6 月に一般社団法人日本自動車連盟（J A F）が実施した「交通マナーに関するアンケート」を見ると、交通マナーが悪いと回答した県民の割合が、香川県は全国で最も高いという結果が出ており、県では、引き続き、交通死亡事故の抑止を県政の重要課題として、関係機関などと連携しながら、交通死亡事故抑止に向けた各種取り組みに努めているところです。そこで、今後の交通事故防止施策の参考とするため、以下の質問にお答えください。

そこで、今後の交通事故防止施策の参考とするため、以下の質問にお答えください。

問 1 香川県を通行する車などの交通マナーについてどう思いますか。次の中から 1 つ だけ選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1 とても良いと思う	0.2% (0.2%)
2 良いと思う	1.0% (1.0%)
3 普通	27.7% (27.1%)
4 悪いと思う	48.9% (48.9%)
5 とても悪いと思う	19.0% (19.7%)
(無回答)	3.1% (3.1%)

問 2 信号機のない交差点で、歩行者が横断歩道を渡ろうとしている場合には、法律では、車などは、一時停止しなければなりません。香川県では、信号機のない横断歩道で歩行者が渡ろうとしているのに一時停止しない車などが多いとの意見があります。あなたはどのように思いますか。次の中から 1 つ だけ選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1 とても多いと思う	34.9% (35.6%)
2 やや多いと思う	44.2% (44.1%)
3 あまり多いとは思わない	17.2% (16.6%)
4 全く多いとは思わない	0.6% (0.6%)
(無回答)	3.1% (3.1%)

問3 車などを運転中に進路変更や右左折等をする場合、法律では、方向指示器等により合図することとされていますが、香川県では、車線変更や右左折等する時、方向指示器等をぎりぎりまで出さない、または、全く出さない車などが多いという意見があります。あなたはどのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 とても多いと思う | 35.8% (36.6%) |
| 2 やや多いと思う | 47.0% (46.7%) |
| 3 あまり多いとは思わない | 15.0% (14.6%) |
| 4 全く多いとは思わない | 0.6% (0.6%) |
| (無回答) | 1.5% (1.5%) |

問4 携帯電話・スマートフォンを操作しながらの車などの運転(走行)、いわゆる「ながらスマホ」は、法律で禁止されているにもかかわらず、香川県では、「ながらスマホ」で走行するドライバーが多いという意見があります。あなたはどのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 とても多いと思う | 28.7% (28.7%) |
| 2 やや多いと思う | 48.8% (49.2%) |
| 3 あまり多いとは思わない | 20.4% (20.1%) |
| 4 全く多いとは思わない | 0.7% (0.7%) |
| (無回答) | 1.3% (1.3%) |

問5 県内の道路で車などを運転中に、後方車両にあおられたり、無理な割り込みをされることがありますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 よくある | 17.3% (17.7%) |
| 2 時々ある | 54.1% (53.8%) |
| 3 あまりない | 20.3% (20.1%) |
| 4 ない | 1.9% (1.9%) |
| 5 車などを運転しない | 5.2% (5.4%) |
| (無回答) | 1.2% (1.1%) |

問6 自転車損害賠償責任保険についておたずねします。

他県では、自転車事故の加害者になった場合、高額な賠償金を課せられるケースが生じています。あなたは、自転車損害賠償責任保険に加入していますか。

次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

- | | | |
|---|--|----------------------------|
| 1 | 自転車事故だけに適用される損害賠償責任保険に加入している | 13.1%(13.7%) |
| 2 | 自転車事故だけに適用される損害賠償責任保険には加入していないが、自動車保険や火災保険等の特約に加入し、自転車事故の加害者になった場合に備えている | 25.5%(25.2%) |
| 3 | 加入していない ⇒ 付問1にお進みください | 49.5%(48.4%) |
| 4 | 加入しているかどうかわからない
(無回答) | 9.1%(9.9%)
2.8%(2.8%) |

【問6で「3」と答えた方にお聞きします。】

付問1 どのような理由により自転車損害賠償責任保険に加入していないのですか。

次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

- | | | |
|---|---|-----------------------------|
| 1 | 自転車損害賠償責任保険があることを知らないから | 16.3%(16.5%) |
| 2 | 自転車損害賠償責任保険は知っているが、自転車で事故を起こしても、保険で補償するほど必要はないと思うから | 7.5%(7.3%) |
| 3 | 自転車に乗る時、十分注意をしているので、自転車事故の加害者になることは考えられないから | 15.2%(15.0%) |
| 4 | 保険料が高いから | 5.7%(5.9%) |
| 5 | 自転車に乗らないから
(無回答) | 70.0%(70.2%)
0.8%(0.8%) |

■次に、少子化対策についておたずねします。

県では、少子化の現状を踏まえ、子ども・子育て支援施策と次世代育成支援施策を総合的かつ効果的に推進するため、「香川県健やか子ども支援計画」*を平成27年3月に策定し、具体的な子育て支援施策の実施に取り組んでいます。

この調査は、今後の子ども・子育て支援施策と次世代育成支援施策の重要な資料のひとつになりますので、以下の質問にお答えください。

※「香川県健やか子ども支援計画（計画期間：平成27年度から平成31年度）」

本県では、少子化の流れを少しでも変え、子どもが健やかに成長することができる社会を形成するため、子どもと子育て家庭を社会全体で支え、次代を担うすべての子どもが心身ともに健やかに成長することができる環境づくりを推進し、「次代を担う子どもたちを安心して生み、健やかに育てることができるかがわづくり」の実現を目指しています。

問7 結婚や家庭についての次のそれぞれの考え方について、あなたはどのように思いますか。次の①～⑥の項目について、それぞれ1～5のうち該当する番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※（）内の割合はウエイトバックした値
（単位：％）

	そう思う	どちらかといえ そう思う	どちらかといえ そう思わない	そう思わない	わからない	無回答
① 結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもよい	25.4 (26.8)	27.6 (27.8)	18.7 (18.0)	21.4 (20.5)	4.1 (4.0)	2.9 (2.8)
② 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	22.5 (24.1)	23.6 (24.1)	19.6 (18.9)	26.7 (25.5)	4.2 (4.1)	3.4 (3.3)
③ 結婚していなくても、子どもを持つのは自由である	24.5 (25.6)	21.4 (21.1)	18.1 (17.9)	25.2 (24.7)	7.7 (7.7)	3.1 (3.0)
④ 子どもよりも、まず夫婦の生活を大切にすべきだ	12.3 (12.5)	23.9 (24.2)	21.5 (21.6)	30.3 (29.4)	8.4 (8.8)	3.6 (3.5)
⑤ 男性は外で働き、女性は家庭を守るのが望ましい	7.4 (7.3)	19.6 (19.1)	17.5 (17.6)	49.2 (49.6)	3.9 (4.1)	2.3 (2.3)
⑥ 家事との両立が難しければ、女性は仕事をすべきでない	8.5 (8.6)	19.5 (19.4)	18.2 (18.1)	44.7 (44.7)	6.3 (6.5)	2.8 (2.7)

問8 長期間にわたり出生率が低下し、子どもの数が減っています。あなたは、出生率の低下の原因は何だと思えますか。次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

- | | |
|---|----------------------------|
| 1 子育てより自分自身の生活を充実させたいから | 29.6%(29.4%) |
| 2 出産や育児のための精神的、肉体的負担が大きいから | 23.3%(23.2%) |
| 3 子どもの将来を不安に思うから | 14.7%(14.6%) |
| 4 子どもは少なく生んで、大事に育てたいから | 9.2%(8.9%) |
| 5 子どもを生む必要性を感じなくなったから | 4.1%(4.2%) |
| 6 男女ともに初婚年齢が高くなり、未婚も増えているから | 66.4%(66.1%) |
| 7 子育てのための経済的負担が大きいから | 59.1%(60.2%) |
| 8 住まいが狭い、居住費が高いなど住宅事情が悪いから | 6.4%(6.3%) |
| 9 保育施設や育児休業などの子育てと仕事を両立させる社会的仕組みが整っていないから | 42.9%(43.3%) |
| 10 遊び場の不足など子どもを取り巻く生活環境が悪いから | 4.9%(5.0%) |
| 11 その他（具体的に： _____） | 5.8%(5.9%) |
| 12 わからない
（無回答） | 2.8%(2.7%)
2.8%(2.8%) |

問9 以下の具体的な少子化対策・子育て支援施策について、あなたが、(1)最も重要だと思える施策を、次の中からそれぞれ3つまで選んで回答欄に番号を記入してください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

- | | |
|---|--------------|
| 1 結婚を希望する男女の出会いの場の創出や結婚を応援する気運の醸成 | 27.7%(26.7%) |
| 2 妊産婦や乳幼児の健康診査・相談など、安心できる母子保健事業の推進 | 15.6%(16.1%) |
| 3 妊産婦や乳幼児が安心して受診できる母子医療体制の充実 | 14.7%(14.9%) |
| 4 子どもを健やかに育てるための健康づくりの推進 | 5.7%(5.7%) |
| 5 子育て家庭のニーズを踏まえた保育サービスの確保 | 23.1%(23.4%) |
| 6 地域における子ども・子育て支援の充実 | 13.9%(14.0%) |
| 7 子育て家庭への支援ネットワークの充実 | 9.2%(9.2%) |
| 8 確かな学力と豊かな人間性を育てる学校教育の推進 | 12.9%(12.9%) |
| 9 若者の社会的・経済的自立の支援など次代の親の育成 | 22.3%(21.7%) |
| 10 労働時間の短縮など仕事と家庭生活の両立支援 | 29.1%(29.9%) |
| 11 バリアフリーの推進など、子どもや子育て家庭にやさしいまちづくり | 3.2%(3.3%) |
| 12 子どもを取り巻く有害な社会環境を浄化する対策の推進 | 5.1%(5.1%) |
| 13 保育料や教育費など、子育てに伴う経済的負担の軽減 | 42.4%(43.4%) |
| 14 児童虐待防止対策の充実 | 6.6%(6.7%) |
| 15 保育士や幼稚園教諭など、子ども・子育て支援を担う人材の確保 | 16.9%(17.2%) |
| 16 その他（具体的に： <u>内容は下記回答欄に記入してください</u> ） | 2.1%(2.1%) |
| （無回答） | 12.4%(11.9%) |

問9 以下の具体的な少子化対策・子育て支援施策について、あなたが、(2)充実度に不満がある施策を、次の中からそれぞれ3つまで選んで回答欄に番号を記入してください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

- | | |
|--|---------------|
| 1 結婚を希望する男女の出会いの場の創出や結婚を応援する気運の醸成 | 9.7% (9.6%) |
| 2 妊産婦や乳幼児の健康診査・相談など、安心できる母子保健事業の推進 | 4.1% (4.2%) |
| 3 妊産婦や乳幼児が安心して受診できる母子医療体制の充実 | 6.9% (6.8%) |
| 4 子どもを健やかに育てるための健康づくりの推進 | 3.7% (3.7%) |
| 5 子育て家庭のニーズを踏まえた保育サービスの確保 | 17.1% (17.2%) |
| 6 地域における子ども・子育て支援の充実 | 11.3% (11.0%) |
| 7 子育て家庭への支援ネットワークの充実 | 10.0% (10.0%) |
| 8 確かな学力と豊かな人間性を育てる学校教育の推進 | 12.4% (12.3%) |
| 9 若者の社会的・経済的自立の支援など次代の親の育成 | 19.0% (18.9%) |
| 10 労働時間の短縮など仕事と家庭生活の両立支援 | 26.8% (27.8%) |
| 11 バリアフリーの推進など、子どもや子育て家庭にやさしいまちづくり | 7.3% (7.5%) |
| 12 子どもを取り巻く有害な社会環境を浄化する対策の推進 | 13.5% (13.1%) |
| 13 保育料や教育費など、子育てに伴う経済的負担の軽減 | 31.2% (32.0%) |
| 14 児童虐待防止対策の充実 | 13.9% (13.7%) |
| 15 保育士や幼稚園教諭など、子ども・子育て支援を担う人材の確保 | 26.8% (27.3%) |
| 16 その他 (具体的に： <u>内容は下記回答欄に記入してください</u>) | 2.3% (2.3%) |
| (無回答) | 20.5% (19.8%) |

次の回答欄に、それぞれ3つまで番号を記入してください。

(1)最も重要だと思う施策	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	(16を選択した場合は、こちらに内容を記入してください)		
(2)充実度に不満がある施策	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	(16を選択した場合は、こちらに内容を記入してください)		

問10 現在の子育てを取り巻く環境や施策について、あなたはどのように思いますか。
 次の①～⑦の項目について、それぞれ1～5のうち該当する番号を1つだけ選んで、
 ○をつけてください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

(単位：%)

	十分である	どちらかかといえ 十分である	どちらかかといえ 不十分である	不十分である	わからない	無回答
① 身近に子育て支援サービスがある	2.0 (2.1)	15.9 (16.4)	22.6 (22.5)	13.4 (13.0)	40.7 (40.9)	5.3 (5.2)
② 子育てについて困ったときに相談したり支えあう体制がある	1.9 (2.1)	14.3 (14.8)	25.2 (25.0)	16.4 (15.7)	36.1 (36.5)	6.0 (5.9)
③ 子どもや子育て家庭にやさしい生活環境である	2.2 (2.3)	20.7 (21.0)	30.6 (29.8)	16.2 (16.3)	24.2 (24.7)	6.1 (5.9)
④ 働き方やライフスタイルに応じた保育サービスを受けられる	1.3 (1.4)	12.5 (12.9)	27.8 (27.3)	22.7 (22.3)	29.1 (29.7)	6.6 (6.4)
⑤ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)が図られている	1.1 (1.2)	11.0 (11.3)	28.8 (28.6)	25.4 (25.3)	27.5 (27.5)	6.3 (6.1)
⑥ 子育てにかかる費用について社会的支援がなされている	1.7 (1.6)	13.5 (13.4)	28.4 (28.1)	25.8 (26.0)	24.7 (25.1)	5.9 (5.7)
⑦ 安心して出産・育児ができる医療環境である	4.6 (4.8)	27.1 (27.1)	22.6 (22.4)	15.9 (15.6)	23.7 (24.3)	6.0 (5.8)

問11 社会全体が一体となって子育てを支える社会を目指していくために、以下の活動について、(1)地域での充実を期待することを、次の中からそれぞれ3つまで選んで回答欄に番号を記入してください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

- 1 子育てに関する相談にのること 32.6%(32.1%)
- 2 親などに急用があるときに、子どもを一時的に預かること 48.0%(48.5%)
- 3 子どもが危険なことやいたずらをしたら注意すること 40.2%(40.2%)
- 4 いじめを見たら注意したり、通報すること 37.7%(38.1%)
- 5 子ども会活動などでスポーツや遊びの指導をすること 19.4%(19.4%)
- 6 不要となった絵本や玩具などを譲ったり貸し出すこと 14.3%(14.3%)
- 7 保育所、幼稚園や学校の保育・教育活動への参加や協力をする
こと 18.3%(18.2%)
- 8 子どもや妊婦、乳幼児を連れた保護者に配慮して
交通ルール・マナー等を守ること 26.0%(27.1%)
- 9 その他(具体的に：内容は下記回答欄に記入してください) 1.3%(1.4%)
- 10 わからない 2.7%(2.8%)
(無回答) 12.2%(11.7%)

問11 社会全体が一体となって子育て・子育てを支える社会を目指していくために、以下の活動について、(2) あなたがしてみたい(している)ことを、次の中からそれぞれ3つまで選んで回答欄に番号を記入してください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1 子育てに関する相談にのること | 11.9% (12.0%) |
| 2 親などに急用があるときに、子どもを一時的に預かること | 14.9% (14.4%) |
| 3 子どもが危険なことやいたずらをしたら注意すること | 41.5% (41.3%) |
| 4 いじめを見たら注意したり、通報すること | 27.8% (27.5%) |
| 5 子ども会活動などでスポーツや遊びの指導をすること | 14.3% (14.8%) |
| 6 不要となった絵本や玩具などを譲ったり貸し出すこと | 29.0% (29.7%) |
| 7 保育所、幼稚園や学校の保育・教育活動への参加や協力をする事 | 21.5% (21.8%) |
| 8 子どもや妊婦、乳幼児を連れた保護者に配慮して
交通ルール・マナー等を守ること | 35.7% (35.8%) |
| 9 その他 (具体的に： <u>内容は下記回答欄に記入してください</u>) | 0.9% (0.9%) |
| 10 わからない
(無回答) | 7.5% (7.8%)
17.5% (16.8%) |

次の回答欄に、それぞれ3つまで番号を記入してください。

(1) 地域での充実を期待すること	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	(9を選択した場合は、こちらに内容を記入してください)		
(2) あなたがしてみたい(している) こと	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	(9を選択した場合は、こちらに内容を記入してください)		

問12 あなたは、育児をしながら働き続けるためには、どのような条件や制度が必要と思いますか。次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1 育児休業給付金の増額など、育児休業中の経済的支援	32.5% (33.4%)
2 医療費助成や児童手当など、経済的支援の充実	30.6% (31.3%)
3 短時間勤務制度、フレックスタイム制 [*] 、始業・終業時刻の 繰り上げ・繰り下げなど、弾力的な勤務形態の導入	39.5% (39.8%)
4 育児休業期間の延長など、育児休業制度の充実	16.5% (16.8%)
5 職業能力開発、相談・情報提供など、出産・子育てのために 退職した者への再就職支援	25.3% (25.2%)
6 事業所での代替要員の確保、職場復帰への支援の充実	21.1% (20.9%)
7 事業所内託児施設の設置	20.8% (20.5%)
8 職場優先の企業風土の是正	15.0% (15.3%)
9 保育料など、各種制度利用に対する費用負担の軽減措置	24.2% (24.4%)
10 延長保育、一時預かり、休日保育、病児・病後児保育など、 多様な保育サービスの提供	38.7% (37.6%)
11 ファミリー・サポート・センター [*] の設置	4.9% (4.6%)
12 その他（具体的に： _____）	0.8% (0.8%)
（無回答）	6.3% (6.1%)

※フレックスタイム制

1 か月以内の一定期間における総労働時間をあらかじめ定めておき、労働者はその枠内で各日の始業及び終業の時刻を自主的に決定し働く制度で、労働者がその生活と業務の調和を図りながら、効率的に働くことができ、労働時間を短縮しようとするもの。

※ファミリー・サポート・センター

育児の援助を行いたい者と育児の援助を受けたい者からなる会員組織で、会員同士による育児に関する相互援助活動の調整などの業務を行い、仕事と家庭の両立を支援する。

■次に、障害福祉についておたずねします。

障害のある方が地域で安心して暮らすことができる社会の実現を目指す「障害者総合支援法」が平成25年度から施行されています。県では、この「障害者総合支援法」等に基づき、障害者施策の指針として策定している現行の「かがわ障害者プラン」（平成27～29年度）の見直しを予定しています。皆さまの障害福祉に関する意識が重要な資料のひとつとなりますので、以下の質問にお答えください。

※ここでいう、「障害者」、「障害のある方」とは、特に説明のない限り、年齢を問わず、身体・知的・精神・発達など何らかの障害のある方すべてをいいます。

問13 あなたは、障害福祉についてどの程度ご関心がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

※（）内の割合はウエイトバックした値

1 非常に関心がある	} ⇒ 問14にお進みください	13.5% (13.3%)
2 ある程度関心がある		55.8% (55.2%)
3 あまり関心がない	} ⇒ 付問2にお進みください	25.2% (26.2%)
4 全く関心がない		2.3% (2.4%)
(無回答)		3.1% (3.0%)

【問13で「3」または「4」と答えた方にお聞きします】

付問2 障害福祉に関心が持てない理由を、次の中から1つだけ選んでください。

※（）内の割合はウエイトバックした値

1 自分に直接関係がないから	52.3% (53.6%)
2 忙しいから	8.2% (8.6%)
3 行政にまかせているから	29.7% (28.3%)
4 その他（具体的に：_____）	7.8% (7.7%)
(無回答)	1.9% (1.8%)

【全員にお聞きします】

問 14 障害者総合支援法では、障害のある方も可能な限り地域において生活できる社会を目指すことが大きなテーマのひとつになっています。

具体的には、入所施設を利用し続けるのではなく、地域で福祉サービスを利用しながらグループホームなどで生活することを目指すものですが、このような考え方について、どのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1 必要と思う	} ⇒ 付問3にお進みください	42.5% (42.0%)
2 どちらかといえば必要と思う		48.0% (48.3%)
3 どちらかといえば必要と思わない	} ⇒ 問15にお進みください	4.3% (4.5%)
4 必要と思わない		1.0% (1.1%)
(無回答)		4.2% (4.1%)

【問 14 で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問 3 障害のある方が地域で生活していくためには何が必要だと考えますか。
次の中から2つまで選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1 障害のある方が働く場の確保、充実	61.9% (62.0%)
2 手当、年金などの所得保障の充実	19.2% (18.9%)
3 ヘルパーの派遣など在宅サービスの充実	21.9% (21.5%)
4 障害のある方が困ったときに相談できる体制づくり	27.2% (26.4%)
5 障害のある方とともに地域で暮らすことに関する住民意識の醸成	31.2% (31.8%)
6 施設や交通機関などのバリアフリー化	11.9% (12.6%)
7 グループホームなど住まいの確保	17.0% (16.8%)
8 その他 (具体的に： _____)	0.5% (0.5%)
(無回答)	1.9% (1.9%)

【全員にお聞きします】

問 15 障害者総合支援法では、障害のある方の就労支援もテーマになっています。これは、障害のある方もできる限りその能力を最大限にいかして、仕事に就くことができる社会の実現を目指すものですが、このような考え方についてどのように思いますか。次の中から1つだけ選んでください。(なお、ここでいう障害のある方とは、障害のある児童や高齢者は含みません。)

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1 必要と思う	} ⇒ 付問4にお進みください	56.0% (56.4%)
2 どちらかといえば必要と思う		36.6% (36.2%)
3 どちらかといえば必要と思わない	} ⇒ 問16にお進みください	1.9% (2.0%)
4 必要と思わない		0.8% (0.9%)
(無回答)		4.7% (4.4%)

【問 15 で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問 4 障害のある方が就労するためには何が重要だと考えますか。次の中から2つまで選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1 企業に対する助成制度の充実	26.8% (26.8%)
2 ハローワークなどにおける職業紹介制度の充実	15.7% (16.1%)
3 就労に向けた訓練施設等の充実	40.4% (40.2%)
4 障害のある方が働きやすい仕事の開発、職場環境づくりなど企業の理解	72.7% (72.5%)
5 障害のある方の家族の理解と協力	13.2% (13.3%)
6 障害者雇用についての企業に対する義務付けの強化	16.2% (16.2%)
7 その他 (具体的に : _____)	1.2% (1.2%)
(無回答)	0.9% (0.9%)

【全員にお聞きします】

問 16 平成 28 年 4 月から、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害を理由とする差別の解消を推進することを目的とした障害者差別解消法が施行されています。障害のある方の権利擁護（差別や虐待の防止など）について、行政はどのようなことに特に力を入れるべきだと考えますか。次の中から2つまで選んでください。

※（）内の割合はウエイトバックした値

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| 1 障害者への理解促進のための啓発活動 | 40.1%(40.4%) |
| 2 障害者差別や虐待についての相談窓口の充実 | 29.8%(29.4%) |
| 3 障害者差別や虐待を未然に防止するための関係者等への指導・支援 | 51.2%(50.7%) |
| 4 障害者虐待の早期発見と早期対応 | 35.8%(36.2%) |
| 5 成年後見制度 [*] についての啓発活動 | 11.0%(11.2%) |
| 6 成年後見制度についての相談窓口の充実 | 13.5%(13.4%) |
| 7 その他（具体的に：_____） | 1.1%(1.1%) |
| （無回答） | 3.5%(3.3%) |

※成年後見制度

成年後見制度とは、認知症、知的障害、精神障害などの理由で、判断能力に不安がある方に対して、本人の権利を守る援助者を選ぶことで、法律的に支援する制度です。家庭裁判所に選任された成年後見人・保佐人等が、本人に代わって財産管理などを行います。

問 17 東日本大震災や熊本地震のような災害に備えるため、障害のある方の防災対策として何が必要だと考えますか。次の中から2つまで選んでください。

※（）内の割合はウエイトバックした値

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| 1 自主防災組織の充実、避難訓練 | 18.4%(18.4%) |
| 2 障害の特性にあった避難場所の確保、避難場所における支援 | 54.5%(54.4%) |
| 3 地域内での要支援者の把握 | 42.2%(42.3%) |
| 4 障害のある方が必要とする物資の備蓄 | 17.2%(17.7%) |
| 5 災害時における障害のある方の避難体制の整備 | 46.7%(46.4%) |
| 6 災害時における情報提供（携帯メールによる情報配信など）の充実 | 9.9%(9.8%) |
| 7 その他（具体的に：_____） | 0.7%(0.7%) |
| （無回答） | 2.2%(2.1%) |

問 18 障害のある方が地域でいきいきと暮らすために、行政はどのようなことに特に力を入れるべきだと考えますか。次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1	障害のある方がいつでも安心して相談できる仕組みづくり	37.7% (36.9%)
2	ショートステイやホームヘルプなど在宅福祉サービスの充実	25.5% (25.3%)
3	地域で生活するためのグループホーム整備など住まいの確保	23.1% (22.9%)
4	行政・企業など関係者が協力した就労の促進	33.4% (33.0%)
5	障害のある子どもを支援する体制の充実	28.7% (28.8%)
6	障害者スポーツ・文化活動の振興	9.3% (9.8%)
7	保健・医療施策の推進	12.7% (12.4%)
8	施設、交通機関や情報のバリアフリー	16.7% (17.3%)
9	防災対策の充実	5.2% (5.5%)
10	手当・年金などの所得保障	24.5% (24.3%)
11	障害のある方に対する県民の理解の促進	27.8% (28.4%)
12	障害のある方の権利擁護の推進	6.9% (6.8%)
13	福祉に関わる人材の養成・確保	24.0% (24.2%)
14	その他（具体的に： _____)	0.8% (0.8%)
	(無回答)	3.7% (3.6%)

■次に、選挙啓発についておたずねします。

選挙権年齢が18歳以上に引下げとなり、若者の政治参加がますます重要となる中で、各種選挙において投票率が低下傾向となっており、県ではより効果的な啓発活動の実施に努めなければならないと考えているところです。今後の啓発活動を検討する上で、皆さまの選挙に関する意識が重要な資料のひとつとなりますので、以下の質問にお答えください。

問19 あなたは、次の国政選挙で、投票に行こうと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1 必ず行く	} ⇒ 付問5にお進みください	53.8% (52.4%)
2 できれば行こうと思う		31.4% (31.8%)
3 あまり行こうと思わない	} ⇒ 付問6にお進みください	9.5% (10.4%)
4 行かない		2.8% (3.2%)
(無回答)		2.4% (2.3%)

【問19で「1」または「2」と答えた方にお聞きします】

付問5 その理由は何ですか。あなたの考えに最も近いものを次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1 投票は国民の義務と考えているから	70.4% (70.3%)
2 政治に関心があるから	10.4% (10.4%)
3 支持する政治家・政党があるから	4.3% (4.1%)
4 投票することで世の中がよくなると思うから	11.9% (12.0%)
5 その他 (具体的に： _____)	2.2% (2.5%)
(無回答)	0.7% (0.8%)

【問 19 で「3」または「4」と答えた方にお聞きします】

付問 6 その理由は何ですか。あなたの考えに最も近いものを次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1 面倒だから | 10.8% (11.9%) |
| 2 政治に関心がないから | 15.5% (15.8%) |
| 3 私一人が投票しても何も変わらないから | 20.2% (20.4%) |
| 4 適当な候補者・政治家がないから | 46.0% (44.7%) |
| 5 その他（具体的に：_____） | 6.1% (5.9%) |
| （無回答） | 1.4% (1.4%) |

【全員にお聞きします】

問 20 選挙の際には、県・市町選挙管理委員会が投票を呼びかける啓発活動を行っていますが、その中であなたが見たり聞いたりしたことがあるものはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

- | | |
|------------------------------------|---------------|
| 1 新聞広告 | 55.9% (54.3%) |
| 2 テレビCM | 53.9% (53.1%) |
| 3 県や市町の広報誌 | 60.7% (59.1%) |
| 4 ショッピングセンターなどでの街頭啓発イベント | 18.3% (18.8%) |
| 5 啓発資材（ポスター、チラシ、ポケットティッシュなど） | 50.2% (50.3%) |
| 6 県や市町のホームページ | 9.5% (9.3%) |
| 7 県選挙管理委員会のフェイスブック、ツイッター | 3.8% (3.9%) |
| 8 県や市町庁舎の立看板・懸垂幕 | 52.4% (51.1%) |
| 9 交通広告（電車・駅・バス） | 12.7% (13.1%) |
| 10 広報車（候補者の選挙カーとは異なります）・広報船による呼びかけ | 45.2% (44.3%) |
| 11 上記1～10に関するマスコミ報道 | 25.1% (24.6%) |
| 12 その他（具体的に：_____） | 0.9% (0.9%) |
| （無回答） | 3.4% (3.2%) |

問 21 次回以降の選挙において、どのような手法で投票の呼びかけを実施すべきだと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1	新聞広告	36.6% (35.6%)
2	テレビCM	52.7% (53.0%)
3	県や市町の広報誌	35.8% (34.7%)
4	ショッピングセンターなどでの街頭啓発イベント	22.5% (23.3%)
5	啓発資材 (ポスター、チラシ、ポケットティッシュなど)	23.0% (23.4%)
6	県や市町のホームページ	9.4% (9.3%)
7	県選挙管理委員会のフェイスブック、ツイッター	8.2% (9.1%)
8	県や市町庁舎の立看板・懸垂幕	21.0% (20.3%)
9	交通広告 (電車・駅・バス)	16.3% (17.1%)
10	広報車 (候補者の選挙カーとは異なります)・広報船による呼びかけ	31.2% (30.1%)
11	その他 (具体的に: _____)	3.1% (3.3%)
	(無回答)	3.8% (3.6%)

問 22 今後、国民の選挙への関心を高め、投票率の向上を図るには、選挙制度などを含め、どうすればよいと思いますか。あなたの考えに近いものを3つまで選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1	学校教育で選挙に関する教育を充実させる	58.6% (58.5%)
2	選挙に関するマスコミ報道を増やす	20.2% (19.6%)
3	行政機関が選挙の意義や重要性について、もっと積極的にPRする	45.9% (44.9%)
4	民間企業や自治会などが主体となって投票参加の呼びかけを行う	21.8% (21.4%)
5	テレビなどで候補者の公開討論会ができるようにする	37.0% (36.2%)
6	インターネットを使って投票できるようにする	36.2% (38.2%)
7	投票を棄権した人に罰金を科す	7.4% (7.7%)
8	投票率が低いことも有権者の選択であり、仕方がない	20.9% (21.2%)
9	その他 (具体的に: _____)	5.6% (5.8%)
	(無回答)	3.1% (2.9%)

■最後に、県政の重要度と満足度についておたずねします。

県では、平成 28 年度からの新たな香川づくりの指針として、「新・せとうち田園都市創造計画」※を策定し、「成長する香川」、「信頼・安心の香川」、「笑顔で暮らせる香川」の 3 つの基本方針のもと、さまざまな施策に取り組んでいます。

この計画を着実に推進し、県民の皆さまのニーズ(要望)に対応した県政を進めるためには、皆さまが「県行政に対して何を求めているのか」、「現在の状況にどのくらい満足しているのか」を知り、それを県政に反映させていくことが重要となります。

そこで、この計画で展開することとしている 24 の分野を対象に、皆さまが考える重要度と満足度についてお伺いしますので、以下の質問にお答えください。

「重要度」については、今の生活やこれからの生活を送っていくうえでどのくらい重要かを、また、「満足度」については、現状にどのくらい満足しているかを、それぞれ 5 段階で評価してください。

※「新・せとうち田園都市創造計画」

本県の進むべき基本的方向とそれを実現するための方策を明らかにした県政運営の基本指針で、計画期間は平成 28 年度から平成 32 年度の 5 年間です。

この計画では、「せとうち田園都市の新たな創造」を基本目標に掲げ、「成長する香川」、「信頼・安心の香川」、「笑顔で暮らせる香川」の 3 つの基本方針のもと、人口減少の克服や地域活力の向上につながる効果的な施策に重点的に取り組み、人口の社会増を伴う、魅力ある瀬戸内香川の生活圏域づくりをめざしています。

問 23 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「成長する香川」についておたずねします。

「成長する香川」の実現に向けて展開している1～7の分野について、あなたの<重要度>と<満足度>を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値
(単位：%)

分野 〔 各分野の施策 〕	重要度						満足度					
	とても重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	無回答	とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	とても不満である	無回答
1 商工・サービス業の振興 〔 成長産業の育成・集積 ・独自の強みを持つ企業の競争力強化の支援 ・企業の海外展開の支援 ・産業の成長を支える人材の育成・確保 ・企業立地の促進と産業基盤の強化 〕	35.3 (35.2)	38.3 (38.5)	18.1 (18.2)	1.5 (1.6)	0.2 (0.2)	6.6 (6.4)	0.5 (0.5)	12.3 (12.5)	58.1 (58.2)	15.4 (15.3)	4.7 (4.8)	9.0 (8.7)
2 農林水産業の振興 〔 本県農業の中核となる力強い担い手の確保・育成 ・消費者ニーズに即した魅力ある農産物の生産・流通・販売 ・強くしなやかな生産基盤の整備 ・森林の整備と県産木材の利用促進 ・消費者の五感が求める水産物の生産と消費拡大・販売強化 ・元気な漁業者の育成と生産力を高める漁港・漁場の創造 〕	38.8 (38.3)	37.5 (37.7)	15.4 (15.9)	1.3 (1.3)	0.3 (0.3)	6.7 (6.5)	0.9 (0.9)	13.9 (14.3)	51.5 (51.9)	19.0 (18.7)	5.5 (5.4)	9.1 (8.8)
3 県産品の振興 〔 県産品の販路開拓 ・県産品の認知度向上 ・アンテナショップの充実・強化 〕	31.6 (31.6)	41.5 (41.4)	16.5 (16.6)	2.8 (2.9)	0.3 (0.4)	7.3 (7.0)	2.7 (2.9)	26.6 (27.7)	45.0 (44.4)	12.9 (12.6)	2.6 (2.6)	10.2 (9.8)
4 雇用対策の推進 〔 安定した雇用の創出と就労支援 ・労働環境の整備 〕	51.2 (51.9)	30.1 (29.5)	10.7 (10.9)	0.6 (0.6)	0.1 (0.1)	7.3 (7.0)	0.6 (0.7)	11.5 (11.7)	45.7 (45.7)	24.2 (24.2)	7.5 (7.6)	10.5 (10.0)
5 交流人口の拡大 〔 観光かがわの推進 ・地域の活性化につながる交流推進 〕	29.3 (29.2)	42.6 (42.8)	18.0 (18.2)	2.5 (2.5)	0.3 (0.3)	7.4 (7.1)	1.2 (1.3)	18.7 (19.2)	49.9 (49.8)	15.9 (15.7)	3.8 (3.8)	10.5 (10.1)
6 交通・情報ネットワークの整備 〔 交通ネットワークの整備 ・情報ネットワークの活用 〕	33.7 (34.0)	38.2 (37.6)	18.3 (18.7)	2.2 (2.4)	0.2 (0.2)	7.4 (7.1)	1.4 (1.4)	16.9 (17.1)	42.7 (42.9)	21.2 (21.2)	7.7 (7.8)	10.0 (9.6)
7 移住・定住の促進 〔 移住の促進 ・若者の定住促進 〕	32.8 (32.5)	38.0 (38.4)	19.1 (19.1)	3.0 (3.2)	0.5 (0.5)	6.6 (6.4)	0.8 (0.9)	9.0 (9.2)	50.8 (51.2)	22.3 (22.0)	7.8 (7.7)	9.3 (9.0)

問 24 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「信頼・安心の香川」についておたずねします。

「信頼・安心の香川」の実現に向けて展開している8～15の分野について、あなたの<重要度>と<満足度>を、それぞれ1～5のうちあてはまる番号を1つだけ選んで、○をつけてください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値
(単位：%)

分野 〔 各分野の施策 〕	重要度						満足度					
	とても重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	無回答	とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	とても不満である	無回答
8 子育て支援社会の実現 〔 ・結婚・妊娠期からの支援 ・子ども・子育て支援の充実 ・子どもや子育て家庭にやさしい環境の整備 〕	51.2 (52.4)	32.8 (32.2)	9.1 (8.8)	0.6 (0.5)	0.1 (0.1)	6.3 (6.0)	0.8 (0.9)	17.5 (17.4)	47.8 (47.7)	20.0 (20.3)	5.0 (5.2)	8.9 (8.5)
9 健康長寿の推進 〔 ・健康づくりの推進 ・社会参加の促進と生きがいの推進 〕	28.5 (28.6)	45.1 (44.9)	17.2 (17.3)	2.4 (2.6)	0.6 (0.7)	6.2 (5.9)	1.2 (1.3)	21.4 (21.4)	53.5 (54.0)	11.7 (11.5)	3.1 (3.1)	9.0 (8.6)
10 安心できる医療・介護の充実確保 〔 ・安全で質の高い医療の確保 ・医師・看護職員の確保 ・介護サービス等の充実 〕	52.6 (53.0)	33.8 (33.4)	7.4 (7.6)	0.4 (0.4)	0.1 (0.1)	5.6 (5.4)	2.0 (2.1)	23.3 (23.2)	37.5 (38.0)	22.0 (22.0)	6.4 (6.3)	8.8 (8.4)
11 地域福祉の推進 〔 ・ともに支え合う社会づくりの推進 ・障害者の自立と社会参加の促進 ・高齢者の安全の確保 〕	34.3 (34.3)	42.5 (42.2)	15.9 (16.3)	1.2 (1.3)	0.2 (0.2)	6.0 (5.8)	0.9 (0.9)	13.3 (13.3)	54.8 (55.5)	18.1 (17.6)	3.9 (3.9)	9.1 (8.7)
12 人権尊重社会の実現 〔 ・人権啓発の推進 ・人権・同和教育の推進 ・人権擁護活動の充実 〕	20.7 (21.2)	33.6 (33.6)	32.2 (31.8)	5.9 (6.0)	1.3 (1.3)	6.3 (6.1)	1.0 (1.1)	14.8 (14.9)	64.3 (64.3)	8.4 (8.5)	2.6 (2.6)	8.9 (8.5)
13 防災・減災社会の構築 〔 ・南海トラフ地震・津波対策の推進 ・大規模な風水害に強いまちづくりの推進 ・危機管理体制の強化 ・安心につながる社会資本の整備 〕	55.3 (56.1)	29.8 (29.4)	8.1 (8.0)	0.6 (0.6)	0.4 (0.4)	5.7 (5.5)	0.9 (1.0)	11.0 (11.1)	46.5 (46.2)	24.9 (25.1)	8.2 (8.4)	8.5 (8.2)
14 安全・安心な暮らしの形成 〔 ・安全な交通社会の実現 ・犯罪に強い社会の実現 ・暮らしにおける安全確保 ・セーフティネットの充実 ・人と動物との調和のとれた共生社会の実現 〕	46.7 (47.4)	34.8 (34.6)	11.6 (11.4)	0.8 (0.8)	0.2 (0.2)	5.8 (5.6)	1.0 (1.1)	16.4 (16.5)	46.7 (46.5)	21.0 (21.3)	6.3 (6.4)	8.5 (8.2)
15 安心して暮らせる水循環社会の確立 〔 ・安定した水資源の確保と供給 ・水循環の促進 〕	50.5 (50.6)	32.5 (32.3)	10.4 (10.6)	0.6 (0.6)	0.2 (0.2)	5.8 (5.6)	3.5 (3.5)	31.1 (30.9)	38.6 (39.1)	14.1 (14.1)	4.1 (4.1)	8.7 (8.3)

問 25 「新・せとうち田園都市創造計画」の基本方針「笑顔で暮らせる香川」について
おたずねします。

「笑顔で暮らせる香川」の実現に向けて展開している 16～24 の分野について、
あなたの<重要度>と<満足度>を、それぞれ 1～5 のうちあてはまる番号を 1 つ
だけ選んで、○をつけてください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値
(単位：%)

分野 〔 各分野の施策 〕	重要度						満足度					
	とても重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	全く重要でない	無回答	とても満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	とても不満である	無回答
16 活力ある地域づくり 〔 ・都市・集落機能の向上 ・豊かな地域資源を活かした農山漁村と集落の再生・活性化 ・地域を支える活動の促進 ・国際化の推進 〕	27.7 (27.9)	44.1 (43.9)	19.5 (19.8)	2.5 (2.5)	0.2 (0.2)	6.0 (5.8)	0.5 (0.6)	12.8 (13.0)	57.3 (57.5)	16.3 (16.5)	3.7 (3.6)	9.3 (8.9)
17 環境の保全 〔 ・環境を守り育てていくための人づくり、地域づくりの推進 ・地域から取り組む地球環境の保全 ・質の高い循環型社会の形成 ・自然とともに生きる地域づくりの推進 ・快適な生活環境の保全 〕	27.9 (27.8)	43.9 (43.8)	19.9 (20.5)	2.0 (2.0)	0.2 (0.2)	6.2 (5.9)	0.9 (0.9)	16.7 (17.1)	57.0 (57.4)	13.2 (12.9)	2.8 (2.8)	9.3 (8.9)
18 みどり豊かな暮らしの創造 〔 ・暮らしを支えるみどりの充実 ・県民総参加のみどりづくり 〕	19.6 (19.6)	39.6 (39.4)	28.6 (29.1)	4.8 (4.9)	0.6 (0.6)	6.7 (6.4)	1.8 (1.8)	22.0 (22.3)	56.0 (56.2)	8.5 (8.5)	2.1 (2.1)	9.6 (9.1)
19 教育の充実 〔 ・学校教育の充実 ・家庭や地域の教育力の向上 〕	43.0 (43.6)	37.5 (36.9)	11.2 (11.4)	0.9 (1.0)	0.2 (0.2)	7.3 (6.9)	1.7 (1.8)	21.3 (21.0)	45.5 (45.9)	17.4 (17.5)	4.1 (4.1)	10.2 (9.7)
20 文化芸術による地域の活性化 〔 ・文化芸術の振興 ・文化芸術による地域づくりの推進 〕	15.4 (15.6)	38.3 (38.1)	33.0 (33.0)	5.5 (5.7)	1.1 (1.2)	6.6 (6.3)	1.6 (1.8)	21.4 (21.6)	57.8 (58.0)	7.5 (7.3)	2.0 (2.0)	9.6 (9.2)
21 スポーツの振興 〔 ・生涯スポーツの振興 ・競技力の向上 〕	16.5 (17.0)	40.8 (40.3)	29.8 (29.9)	5.2 (5.4)	1.0 (1.1)	6.6 (6.3)	1.2 (1.3)	17.1 (17.1)	58.8 (59.0)	10.5 (10.6)	2.8 (2.9)	9.6 (9.2)
22 男女共同参画社会の実現 〔 ・男女共同参画社会の実現に向けた社会基盤の構築 ・あらゆる分野における女性の活躍推進 ・女性の安全・安心の確保 〕	23.2 (24.0)	40.7 (40.3)	25.5 (25.2)	3.2 (3.2)	1.0 (1.0)	6.5 (6.2)	0.7 (0.8)	12.9 (13.1)	61.6 (61.5)	12.2 (12.4)	3.4 (3.5)	9.2 (8.8)
23 青少年の育成と県民の社会参画の推進 〔 ・青少年の健全育成 ・ボランティア・NPO 活動の促進 ・生涯学習の促進 〕	22.6 (22.5)	41.1 (40.6)	26.4 (27.0)	2.8 (2.9)	0.8 (0.9)	6.3 (6.0)	0.9 (1.0)	13.0 (13.0)	63.6 (64.2)	10.6 (10.4)	2.5 (2.5)	9.3 (8.9)
24 魅力ある大学づくり 〔 ・県内大学等の充実強化 ・県内大学等との連携強化 〕	22.6 (22.8)	35.2 (34.8)	30.1 (30.3)	4.9 (5.1)	1.1 (1.1)	6.1 (5.8)	0.6 (0.6)	10.0 (10.1)	61.6 (61.7)	13.2 (13.4)	5.2 (5.3)	9.2 (8.8)

ご協力ありがとうございました。質問はこれで終わりですが、お答えいただいたことを性別や年代などで統計的に分析するため、あなたご自身のことについてお聞かせください。

F1 あなたの性別をお聞かせください。(○は1つ)

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1 男性 (無回答)	45.1%(45.3%) 1.5%(1.5%)	2 女性	53.4%(53.2%)
---------------	-----------------------------	------	--------------

F2 あなたの年齢は、おいくつですか。(○は1つ)

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1 18～19歳	1.5%(2.2%)	2 20～29歳	6.8%(9.5%)
3 30～39歳	11.3%(13.1%)	4 40～49歳	15.2%(16.5%)
5 50～59歳	16.5%(13.7%)	6 60～69歳	22.0%(18.8%)
7 70歳以上 (無回答)	25.6%(25.0%)	(無回答)	1.2%(1.2%)

F3 あなたの職業は何ですか。次の中から主なもの1つを選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1 農林漁業を営んでいる (家族従業者も含みます)	4.9%(4.6%)
2 商工業、サービス業、自由業などを営んでいる (家族従業者も含みます)	12.8%(13.0%)
3 会社、商店、官公庁などに勤めている (パートも含みます)	40.1%(41.0%)
4 主婦・主夫 (家庭の中で家事が主な役割の方)	20.9%(19.9%)
5 無職 (学生を含みます) (無回答)	19.9%(20.0%) 1.4%(1.4%)

F4 あなたは、現在の所で何年お住まいですか。次の中から1つを選んでください。

※ () 内の割合はウエイトバックした値

1 3年未満	7.0%(8.1%)
2 3年以上～10年未満	13.6%(14.7%)
3 10年以上～20年未満	15.0%(15.7%)
4 20年以上 (無回答)	63.2%(60.3%) 1.2%(1.2%)

たくさんの質問にご協力いただき、誠にありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れ、6月1日(木)までに、切手を貼らずにポストにご投函ください。